

Back Market、「旬のりんごはやたら高い」キャンペーンを本日開始

6万円以上のリファービッシュ品スマートフォンの購入が
3,000円引きになる期間限定プロモーションコードを無料配布



世界最大級のリファービッシュ電子機器に特化したマーケットプレイスであるBack Market Japan株式会社(本社:東京都渋谷区 以下、Back Market)は、スマートフォンの購入に使えるクーポンキャンペーン「旬のりんごはやたら高い」の開始を発表します。本キャンペーンは2025年9月9日（火）から2025年9月30日（火）までの間、6万円以上（税込）のスマートフォン購入を対象に3,000円引きで購入できるプロモーションコードを配布します。リファービッシュ品とは、中古品として回収された電子機器を専門家が検査・クリーニング・修理し、全ての機能で正常作動が確認されている整備済製品です。

・リファービッシュスマートフォン一覧ページ：

<https://www.backmarket.co.jp/ja-jp//smartphones/e85ce098-7f65-4e20-9672-c09bfc2c0ed2>

・リファービッシュiPhone一覧ページ：

<https://www.backmarket.co.jp/ja-jp//iphone/fe399560-2b82-4503-804b-7d41fbcc5d96>

スマートフォンは日常のあらゆるシーンで欠かせないデバイスであり、写真・動画撮影、キャッシュレス決済、学習や仕事の生産性向上まで、一台で幅広い用途に対応します。一方で新品価格の高騰から購入をためらう声も多く、Back Marketが今年8月に発表した調査*では、スマホの価格が今後さらに上昇した場合の対応について尋ねたところ「リファービッシュスマホを検討すると思う」(26%)、「中古スマホを検討すると思う」(12%)となり、合計約4割が新品以外の選択肢を前向きに検討していることがわかりました。価格高騰が懸念される中、高い品質が担保されコストパフォーマンスに優れたリファービッシュスマホや、安い中古スマホへの関心が広がっています。

*調査内容：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000047.000103337.html>

<「旬のりんごはやたら高い」キャンペーンについて>

- キャンペーン対象：6万円以上（税込）のリファーマビッシュスマートフォン
- キャンペーン期間：2025年9月9日（火）～2025年9月30日（火）まで
- プロモーションコード：RINGOBUKKADAKA3000
- プロモーションコードのご利用方法および注意事項
 - ご注文手続き内の「お支払い情報」ページにある「プロモーションコードを利用する」欄へ、RINGOBUKKADAKA3000と入力すると割引が適用されます。
 - カート内に商品が2点以上入っている場合や、スマートフォン以外の商品カテゴリー（タブレット、Airpodsなど）がある場合はコードが適用されません。
 - 本プロモーションコードは、おひとり様1回限り有効です。
 - 他のキャンペーンとの併用はできません。

*プロモーションコードの配布予定枚数を超えた場合や、在庫状況に応じて早めに終了する場合がございますので、予めご了承ください。

■Back Market Japan株式会社について

Back Marketは、2014年11月にフランスで設立されたユニコーン企業であり、携帯電話やパソコンなどの電子機器のリファーマビッシュ品（整備済製品）を取り扱う世界最大級のマーケットプレイスです。現在は日本を含むアジア、欧州、米国など世界18ヶ国で事業を展開しています。リファーマビッシュ品とは、中古品として回収された電子機器を専門家が検査・クリーニング・修理し、全ての機能で正常作動が確認されている整備済製品です。Back Marketでは販売業者に対する厳格な審査、新しい機器のリファーマビッシュ方法に関するノウハウ共有、品質と価格の最適なバランスに基づいて販売商品を提供する独自のアルゴリズムの開発などを通じて、リファーマビッシュ品の高い品質の維持に努めています。購入者に対しては、より安心してリファーマビッシュ品を購入できるように、1年間の動作保証と30日間の返金保証を無料で自動付帯となっており、新品以下の価格かつ、中古品以上の品質と保証を持ち合わせたリファーマビッシュ品の普及に取り組んでいます。

Back Marketでは、サステナブルで環境に優しい事業・活動を続けていくことを企業ミッションとして掲げており、2023年4月には「B Corporation（B Corp）」認証を取得しています。リファーマビッシュ品は新品と比較した場合、製造プロセスにおける原材料の使用量、水の使用量、電気電子機器廃棄物の発生量、大気中への二酸化炭素排出量の全項目において約10分の1となることから、リファーマビッシュ品の市場拡大を通じて、環境への負荷を低減することを目指しています。<https://www.backmarket.co.jp/ja-jp>